総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（令和元年度）

２．分野別状況（２）地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野 （２／４）

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区 （長崎県、長崎市、佐世保市、西海市）	4.0	4.7 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 116% ・県内造船所による環境関連機器の取扱件数 107% ・海洋再生可能エネルギー実証プロジェクト実施件数（累計） 100% 等	3.3 財政支援等 ・燃料電池船技術評価FS事業 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業集積促進事業 等	4.0	・造船業をめぐる厳しい国際環境のなかで、技術的な優位性を活用し、省エネ・環境対策関連分野への特化という明確な目標にむけて、引き続き着実な成果を積み上げることができている。 ・目標達成に向けた実施スケジュールを具体的に記載している点が評価できる。 ・評価指標が4年間で10%増というのは消極的過ぎないか。各企業からの積上げとの積算根拠が記載されているが、補助金を利用するからにはもう少し高い目標を設定すべき。二年目にして既に大幅に目標値を超えていることより、上方修正も検討すべき。 ・地域独自の取組として産業支援・産業技術支援や海外展開支援に対する事業の記載があるが、本特区の目標である船舶環境技術や海洋エネルギー産業の集積という目標との直接的な関連性が薄い。